



学校法人国学院大学の公式ホームページでは、傘下各校の行事や取り組み等を公開しています。左記の二次元コードからぜひご覧ください。

# 学報 News CATY

2025年1月

第161号

発行/国学院大学  
北海道短期大学部  
滝川市文京町3-1-1  
TEL.0125-23-4111 FAX.0125-23-5590  
広報委員長 今野 道裕

## 学びの成果を発表

学生たちの活気あふれる発表会



**国文学科**  
国文学科は昨年12月7日、卒業論文発表会を本学4号館の講堂で行いました。発表会は学生主体で開催する行事で、学部の会が参加し、各ゼミから1名の代表が資料に基づき10分の発表をします。中国文化、祭祀研究、国語教育学、古典芸能、戦国史、民俗学、近代文学の発表があり、これらから卒論を提出する2年生だけでなく、1年生も熱心に聴き入っていました。

**総合教養学科**  
総合教養学科は昨年12月14日、研究発表会を三浦華園で実施しました。前半は「動物も人間と同じような権利が与えられるべきか」「炭鉱が繁栄した今、今年様な内容でした。



**幼児保育コース**  
幼児保育コース2年生は昨年12月6日、市内2つの幼稚園で「築演も子どもたちが大好きな発表会」を行いました。学生たちは「子どもたちの声援が力になった」と、生の文化の魅力に改めて気づいたようでした。

**児童教育コース**  
児童教育コースは1月16日、「第17回初等教育研究会報告会」を本学で開催しました。「稲作体験活動と来不足から考える私たちの食育」(倉田ゼミ)、「一人ひとりの思いを生かす児童主体の楽し

**倉林正次 元学長が逝去**  
第4代学長(平成8年4月13日)を、専任で務めた倉林正次先生が11月6日に逝去されました。99歳。倉林先生は平成14年生まれ、平成8年国学院大学教育学部教授を定年退職し、市民に向けて「教養講座」(現オープンカレッジ)を拡充しました。また、アイヌ文化に関する事業を積極的に展開されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

**科目等履修生・聴講生募集**  
本学では、社会人等の多様な学びを続ける機会を提供しています。本学の多彩な科目の中から、国文学科の学びを深めたいという学生や、地域の皆様へ本学の学びを還元したいという学生を募集しています。この制度は、本学が推進している「地域連携」の一環として、科目等履修制度(履修生)と同様に通常の授業を

**オープンキャンパス 3.29 開催!**  
来場開催: 幼児・児童教育学科 幼児保育コース  
オンライン開催: 国文学科/総合教養学科/幼児・児童教育学科 幼児保育コース



## キャリアを遠くまで見渡す

総合教養学科 助教 寺嶋 将

令和6年4月に本学に着任した総合教養学科 寺嶋助教。青は会計学及び租税法。前職の税理士法人での豊富な実務経験を生かし、令和7年度から教養選択科目「職業論」を担当します。昨年12月3日には、高大連携事業の一環として、本学を訪れた滝川西高等学校の情報マネジメント科1年生105人に特別講義「職業論」を行い、「キャリア」という概念、「キャリアデザインの方法」等をテーマに話しました。今回は4月から担当する教養選択科目「職業論」について、さらには先生のこれまでの経験や経歴についてお話を伺いました。

**講義「職業論」のテーマはキャリアデザインを中心に**  
個人の生き方の多様化、AIなどの出現による社会環境の急激な変化から、キャリアデザインが注目されています。私が思うキャリアデザインとは、「自分らしく働きながら将来目標を達成する」という状態を指す。成長し、充実感を感じられる状態です。キャリアという仕事の経歴や経験(インポート)が強いかもしれませんが、働くことを含みます。ここからは、私のキャリアデザインを紹介したいと思います。

**過去の経験は 未来の成功の鍵**  
その後、就職先が訪れ、昨年4月に本学へ転職する機会を得ることができました。実務にも学術にも触れてきた強みを生かし、研究者として、実務での切り口から得た種を、課題と解決方法を探り、その情報を発信したいと考えています。学生へは「社会で通用するもの」を信じて専門分野の学習を促していきます。キャリアは探るものではなく、作るもの。キャリアデザインをする上で大きな力となるのが、実はこれまでの経験の中に潜んでいるかもしれません。過去の経験を振り返り、それを生かすことで、より豊かで充実したキャリアデザインを築くことができるでしょう。

## 地域へ感謝を伝える

1月18日、本学において、日頃の活動でお世話になっている地域の皆様へ感謝を伝えるイベント「Charming Festival III」を開催しました。地域活性化に取り組む総合教養学科の学生が参加する「総教まちづくりプロジェクト」が主催し、地域の皆様にもご協力いただき、ワークショップや飲食店のブースを設け、特設ステージではオカリナ演奏、合唱、ダンス、演劇などが披露されました。家族連れなど約300人の幅広い世代の方々にご来場いただき、大いに賑わいました。



お正月に百人一首の歌を詠むのが、(北海道)は下の句か歌を置くシーンがあり、「めぐりあひての歌」に決まっています。その歌は今後の授業やオープンカレッジなどでおきたいと思っています。



国際交流事業として「教養学科2年と佐藤 佐々木陽向さん(総合 宇宙さん(幼児・児童教育)12年生)は、昨年10月11日から31日まで渡米し、スプリングフィールド大学研修を実施しました。この研修は、学位認定科目として計10回の事前研修を経て行われ、現地では学生寮滞在しながら授業や異文化交流、ボストンやニューヨークでの自主研修を体験しました。日本の伝統文化の紹介や滝川市の冬の風物

## 米国スプリングフィールド大学研修が育む未来への力

教育学科 児童教育科 詩である紙巻(タン)りなを通し、異なる文化や教育のあり方について学ぶことも、英語力や多様な柔軟な適応力(タフネス)を身に付けました。帰国後は12月13日(中間報告会)1月23日(帰国報告会)を実施しました。今後、この貴重な体験が多くの学生に影響を与え、それが期待されています。

## 紫式部 雑感 3

国文学科 渡辺 開紀 准教授



近年、ドラマは放映後にインターネットやSNSでさまざまな「考察」され、視聴者がそれを共有することを楽しんでいます。今回のドラマでは、この歌のように古典作品や和歌に斬新な解釈が加えられた部分が幾度となく話題となり、私の受講生の中にも、ドラマ本編とその「考察」をセットにして質問に来る方がいました。古典の学びに大きな変化を感じました。ちなみに、「めぐりあひて」の歌をはじめ、ドラマの制作秘話を講演会で聞いてきました。その話は今後の授業やオープンカレッジなどでおきたいと思っています。